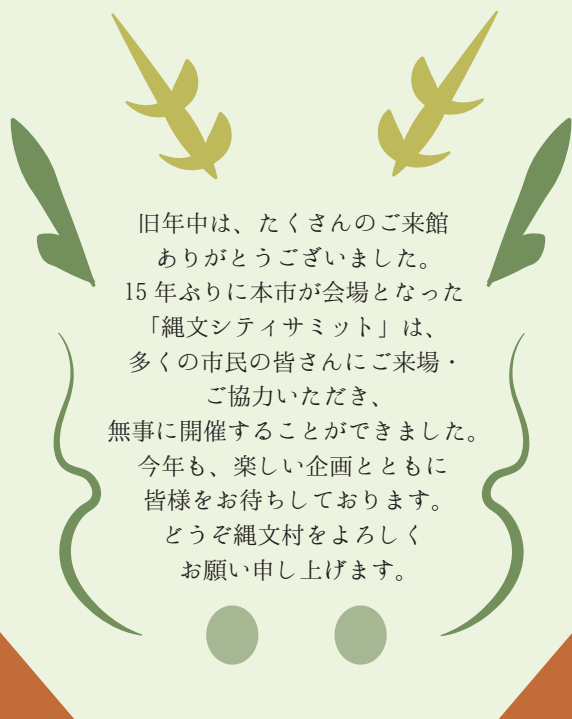




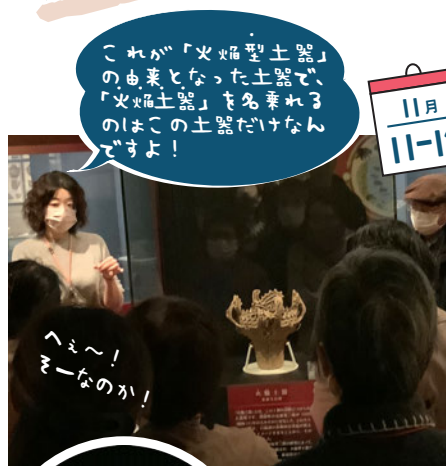
2024 HAPPY NEW YEAR



旧年中は、たくさんのご来館
ありがとうございました。
15年ぶりに本市が会場となった
「縄文シティサミット」は、
多くの市民の皆さんにご来場・
ご協力いただき、
無事に開催することができました。
今年も、楽しい企画とともに
皆様をお待ちしております。
どうぞ縄文村をよろしく
お願い申し上げます。

初冬の縄文村も アクティブです！

海に山に、新潟に。大忙しだった11月。寒さも吹き飛ばす1か月を振り返ります！



これが「火焰型土器」の由来となった土器で、「火焰土器」も名乗れるのはこの土器だけなんですよ！

11月
11-12

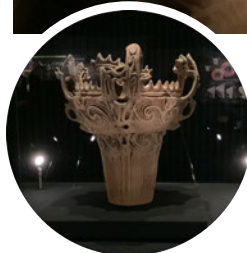
あこがれの土器に会いに。

【日本遺産『なんだ、コレは！』信濃川流域の火焰土器文化と雪国文化を巡るバスツアー】

毎年人気の「縄文村バスツアー」。今年は縄文ファンあこがれの「火焰型土器」を巡る新潟の旅へ行ってきました！

火焰型土器の由来となった元祖の土器、国宝に指定されているものなどを見学し、その本物の迫力に感動！

普段見慣れた里浜貝塚の土器とは違う「火焰型土器」の世界に、どっぷりと浸かった2日間となりました。



▲長岡市馬高縄文館

▲十日町市博物館蔵
国宝火焰型土器

11月 18-19 縄文の手仕事を体験。 【つる編みに挑戦しよう！】

11月中旬は「つる編みに挑戦しよう！」。縄文人の手仕事、カゴ作りを体験します。

1日目は史跡公園でつるの採集方法を学びました。2日目は学芸員から「縄文時代の植物利用」の講座を受けたあと、いよいよカゴ作り！

じっくり丁寧につるを編みこみ、2時間かけてカゴが完成！「自然相手だからこそ、思いがけない作品になって面白い」「(体験してみると)縄文人の作ったカゴはクオリティがすごい」と、自然の恵みを生かしたカゴ作りを大いに楽しんだ様子でした。



▲縄文講座の様子



▲カゴ編みに没頭

11月 26 奥松島の冬の幸を楽しむ！ 【カキ養殖体験②収穫】



うわぁ！すごい！

剥き」に挑戦！「道具を作り出して、殻を割るなんてすごい！」「毎年やってるけど難しい」と関心しきり。

焼きガキ、蒸しガキ、縄文土器で作ったカキ鍋に、カキご飯とおなかいっぱい奥松島の冬の幸を楽しみました。

11月26日。4月に種付けしたカキを収穫する時がきました。半年間、地元漁師さんに育てて頂いたカキを引き揚げに、奥松島の海へ出発！今年の猛暑の影響で、成長に不安がありました…海から自分のカキ縄を引き揚げた瞬間、笑顔が見られました。漁港に戻って縄から外す作業を行い、収穫は完了。

カキランチの前に、鹿角ハンマーと鹿の骨のへらを使い「縄文式カキ



ハンマーで穴をあけて、へらでこいあける…難しい…

▲縄文式カキ剥きに挑戦